学校番号	３１０

平成３１年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合Ａ	単位数	２	年次	１
使用教科書	明解　国語総合　改訂版（三省堂）						
副教材等	日本漢字能力検定対応　新漢字の学習４～２級（三省堂） 正しく読み・解くための　力をつける現代文　ステップ 1.5（数研出版） カラー版新国語便覧　新版四訂（第一学習社） カラー版新国語便覧　準拠ノート〈新版〉（第一学習社）						

１ 担当者からのメッセージ

・１年生では基礎的・基本的な国語の力を育成します。
・様々な文章を「読む」「書く」ことで言語感覚を磨き、語彙力を身につけます。
・話し合いやプレゼンテーションなど「話す」「聞く」活動等を通じて対話的で深い学びを修得していきます。

２ 学習の到達目標

・文章の内容に即して筆者（作者）の考えを読み取ることができる。
・目的や場に応じて自分の考えを他者に伝えることができる。
・お互いの意見を尊重し、他者の考えを理解することができる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析（ワークシート、原稿用紙） 定期考査	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、語句調べプリント等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	教材: 「負け方を習得する」 ワークシート	○			◎	○	a:「適切な負け方」や「意義のある敗北」などのキーワードの意味を捉え、具体例をもとに展開される筆者の主張を読み取ろうとしている。 d: タイトルやキーワードの意味と、具体例で表されている筆者の主張の要点を理解している。 e:中学校までに学んできた主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認
	評論	教材: 「水の東西」 ワークシート	○			◎	○	a:東西の文化の特徴を身近な経験を通して考えようとしている。 d:評論文の論理の展開や要旨を的確に読み取る。 e:本文を通して水に対する東西の捉え方の違いを知る。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認
	小説	教材: 「羅生門」 ワークシート	○	○		◎	○	a:登場人物の状況、変え方を捉え、その行動や心情の変化が場面の推移に従ってどのような表現で描かれているかを理解しようとしている。 b:登場人物の「悪」に対する考え方について自分の考えを発表できる。 d:登場人物の心情の移り変わりを的確に読み取ることができる。 e:文章構成における場所や時間の設定、多用されている動物の比喩などの意味するものを的確に捉えている。	a:授業の取り組み姿勢 b:授業での話し合い d:記述の確認 e:記述の確認
	随想	教材: 「ツゴイネルワイゼン」 ワークシート	○			◎	○	a:一人の人間と戦争との関わりをもとに人間の生き方について考えを深め、描かれた場面における人物の思いを文章から読み取ろうとしている。 d:一つ一つのエピソードが語っていることの意味を理解し、記述をふまえて読み取っている。 e:文章の組み立てにおいてエピソードが挿入されているような場合の文章構成や時間の把握ができている。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認

2学期	評論	教材: 「魚は陸から離れられない」 ワークシート	○			◎	○	a: 魚の生態を明らかにしていく文章を読み、自然と人間との関わりについて考えを広げようとしている。 d:データをもとにして進めていく論理展開を明らかにし、筆者の主張を読み取っている。 e:具体例、参照すべき図版やグラフの数値が論理と結びつけて展開される文章の構成を理解している。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認
2学期	小説	教材: 「バスに乗って」 ワークシート	○			◎	○	a: 登場人物たちのせりふに込められた心情について考えようとしている。 d: 会話をてがかりに、場面ごとの人物の心情の変化を読み味わっている。 e:地の文に描かれた登場人物達の行動や表情の描写、会話文などのニュアンスが生み出している効果に気づいている。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認
	評論	教材: 「問題解決の心理学」 ワークシート	○			◎	○	a:文章の主張の中心となるキーワードを捉え、その意味を自分の言葉で説明しようとしている。 d:評論で使われているキーワードや表現を自分の言葉でわかりやすく表現している。 e:文章中の重要語句の意味を理解し、それが筆者の主張とどのように結びついているのかを理解している。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認
	短歌。俳句	教材: 「遠い片手（短歌九首）」 「春のオルガン（俳句十二句）」 穂村弘「麦わら帽子のへこみ」 ワークシート	◎	○	○	○	○	a:短歌や俳句を読み比べ、リズムを味わい、それぞれの短歌や俳句の違いやおもしろさを感じ取ろうとしている。 b、c:内容や表現の仕方について話し合い、自分の感想を述べたり、他者の考えを聞いたりする。またそれらを書き、自分の考えをまとめる。 d:それぞれの短歌や俳句がどのような情景をよみ、どういう心情を表しているのか、解説文や書籍などをふまえて理解を深めている。 e: 短歌や俳句における語句の効果的な使い方や, 修辞の技巧がもたらす効果について理解している。	a:授業での取り組み姿勢 b:授業での話し合い c:記述の確認 d:記述の確認 e:記述の確認

3学期	小説	教材: 「なめとこ山の熊」 ワークシート	○			◎	○	a: 物語の中にたち現れる生命観や人間観・自然観について理解を深め、筆者の語りが生み出す物語のおもしろさを感じ取ろうとする。 d: 小十郎の生き方や考え方の変化を通じて、筆者が何を表現したかったのかを考え、筆者の世界観を理解している。擬声語 ・擬態語・比喩などの表現のおもしろさを味わおうとしている。 e:文の段落構成や、使用されている四字熟語や慣用句などの意味を的確に把握している。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認
	評論	教材: 「届く言葉、届かない言葉」	○			◎	○	a:心に届く言葉とはどのようなものかについて考えようとしている。 d：事例と考えとを的確に区別でき、筆者の考えの中心がどこに書かれているか、捉えられている。 e:主に事例を述べている段落と考えを述べている段落とを判別することができている。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。